

休本錬成報尾り



平成**22**年 **399**号

今月号目次

四十四周年記念式典	2
行事報告	3
昨年度行事報告	5
表彰	6
教室スケッチ	7
編集後記	7

表紙写真 学生書道教室

四十四周年記念式典 六月十九日(土)

理事長挨拶

理事長 山崎 孝之

伏木錬成館は、今年で四十四周年を迎えました。伏木錬成館は、今は亡き飯田峯兆先生が中心となり、日本の伝統文化を守っていくことを目的として、昭和四十一年に開館しました。三年後からは特別会員（顧問・賛助会員）のご賛同を得て活動の幅が広がりました。

当時、会員数は多いときには八百人いました。現在は少子化になっていきますが、高岡市内十一の小学校から子どもたちが錬成館へ来て活動を行っています。来年度は開館四十五周年ということで、多くの方々に来ていただき、記念式典を行いたいと思います。会員の皆さんも来年度四十五周年に向けて一生懸命錬成館活動に励んでいただきたいと思います。また、今日は保

護者の皆様方に錬成館活動の一端を見ていただき、錬成館に対するご理解をいただきたいと存じます。



式次第

*閉式

*国歌斉唱

(ピアノ伴奏：岩城映美)

*理事長挨拶

*表彰

・感謝状

柳川 朋宏

(柔教室師範補佐)

・特別精励証(十二名)

代表：道前 翔悟

(柔教室)

・皆勤証(十一名)

代表：福嶋 歩紀

(学生書道教室)

・精励証(一一五名)

代表：村田 夢斗

(柔教室)

*実技発表

・「君の祖国を」全員合唱

(ピアノ伴奏：岩城映美)

・かるた教室

「百人一首朗唱」

・ギター教室

「春の小川」「メヌエット」

「エーデルワイス」

「ミッキーマウスマーチ」

・こども英語

歌劇「シンデレラ」

・柔教室

倫心流演武

・バトン教室

「メリーポピンズ」

「コーラスライン」

*「友情の歌」(全員合唱)

(ピアノ伴奏：山谷美紗)

*閉式



会員の感想文

発表をしてみたこと

こども英語教室

六年 矢坂 美咲

私はシンデレラの役をしました。始めは「こんなにセリフを

覚えられるかな」や、「一宮さんのように、はくりよくのある演技ができるかな」と心配でした。でも、最後までやりぬかなければと思い、毎日家で練習をしました。

英語教室で練習する時は、「面白い劇になるかな」とか「拍手してもらえるかな」と不安でした。

だんだん本番が近づいてくると、ため息がたくさん出ました。そして本番を迎えました。みんなのしせんがきて、こわかったけれども、さいごまでやりきれたので、ホッとしました。

お母さんやお父さん、おじいちゃんに「がんばったね」とか「良かったよ」と言ってもらい、うれしかったです。とても良い劇が出来て良かったです。

今年のもくひょうは「発音をよくして話す」ことです。がんばります。



四年 串田竜太郎

シンドレラをやる前は「かந்தんかな」と思っていました。でも、練習をはじめるとむしろ良かったです。特に「きらきら星」のかしをおぼえるのはとてもむずかしかったです。でも、がんばって練習して、とても上手になりました。

そして本ばんになりました。たくさんの方がいました。少しきんちようしていました。発表のときがやってきました。がんばろうと思いました。歌を歌う時がやってきました。ほくは大きな声でいきました。いいえんができてよかったです。

このけいけんをいかし、もっともつとえいごをべんきようして、うまくなりたいです。家に帰ると、家族が「よかったね」と言ってくれたのでよかったです。とてもいい一日でした。



行事報告

◆開講式

四月一日(木)午後六時より
新入会員を迎え、道場で行いました。

◆伏木観光祭り芸能発表会

四月十一日(日)
午前十一時半〜午後二時

駅前広場の特設会場で行われた芸能発表会に、バトン教室が演技しました。

◆大伴家持脚献花祭

四月十八日(日)
午前十一時

大伴神社にて、大伴家持脚の遺徳を偲び、当館会員の、下馨子、竹原美月(古府小六年)、森下召夢(伏木小六年)の三名が早乙女姿で昨年赤米献穀田で収穫した赤米を献上しました。会場には、大伴家持脚顕彰会会長の高橋市長や各校長先生方も同席されました。

◆峯兆祭

四月二十九日(木)

二上山、文化の森にて、職員が集い、伏木錬成館創始者、故飯田峯兆先生の歌碑の前で先生の遺徳を偲びました。

◆赤米お田植え祭り

五月二十二日(土)

万葉歴史館前の赤米献穀田にて、大伴家持脚顕彰会の会員が